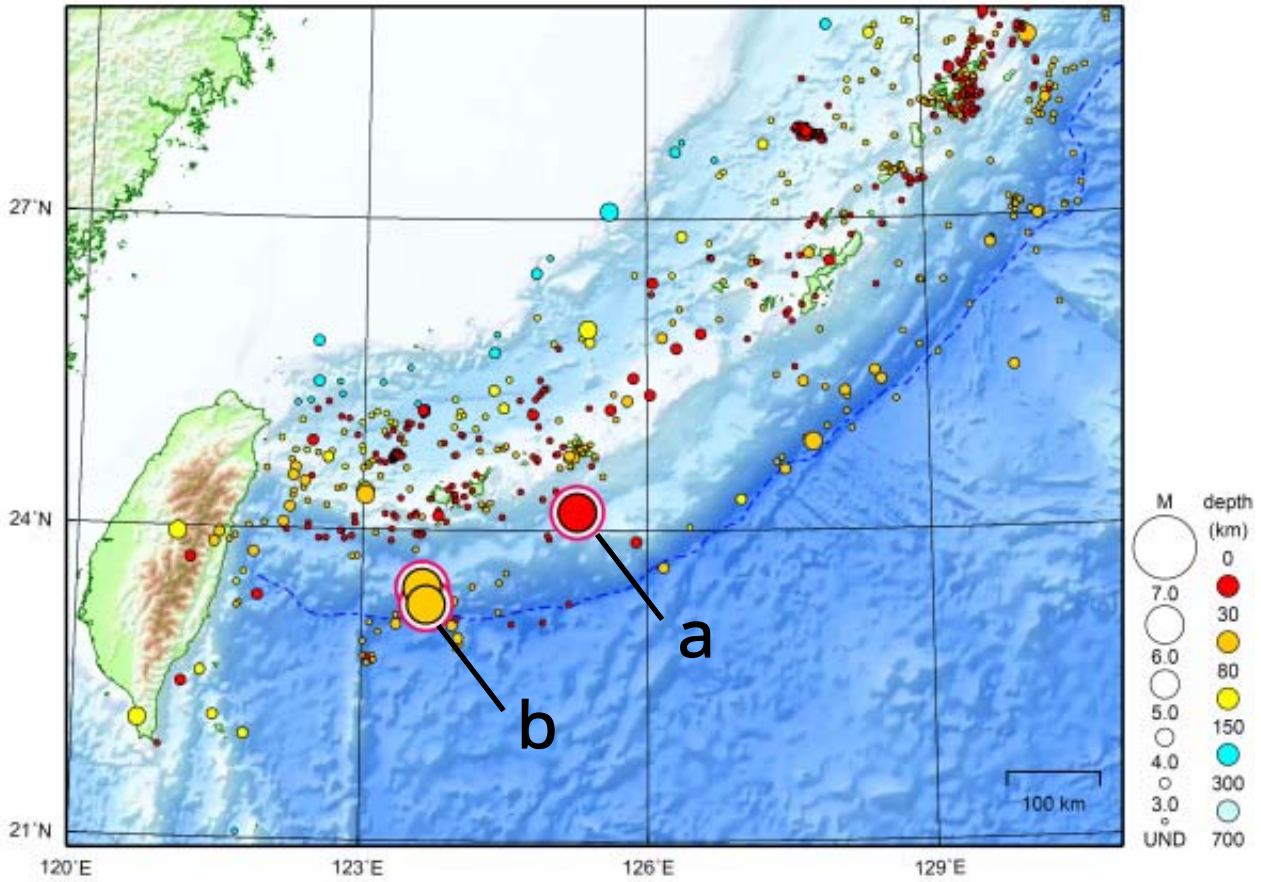


沖縄地方

2009/08/01 00:00 ~ 2009/08/31 24:00

N=1863



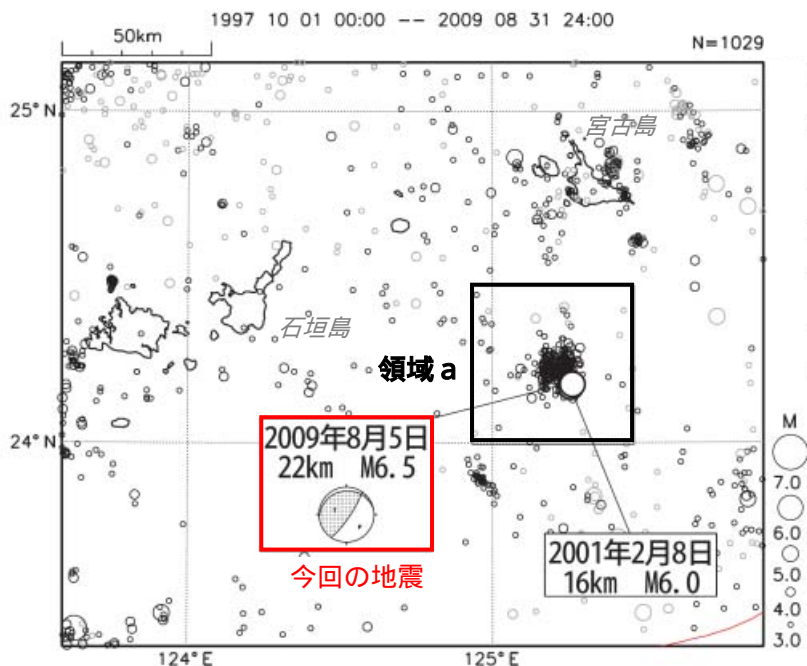
地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- a) 8月5日に宮古島近海で M6.5 の地震 (最大震度 4) が発生した。
- b) 8月17日に石垣島近海で M6.7 と M6.6 の地震 (最大震度 3、最大震度 2) が発生した。

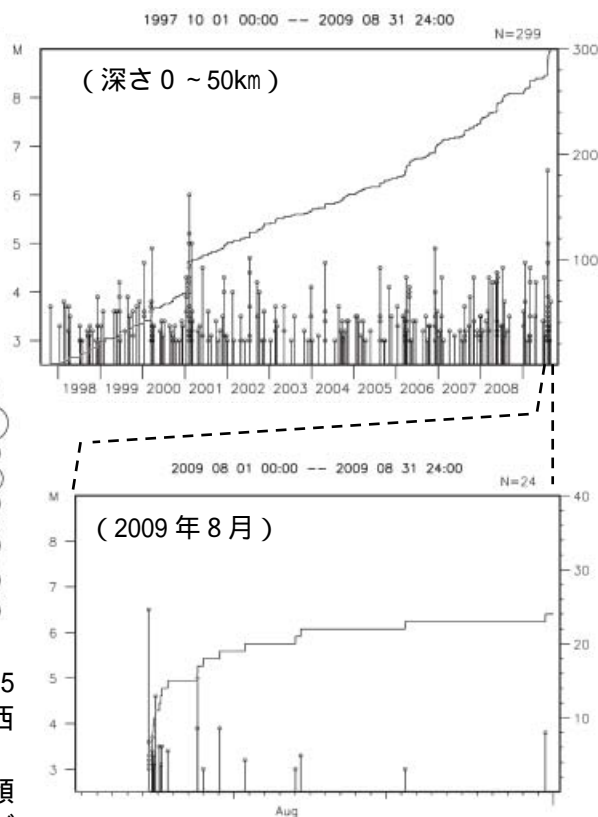
[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上のいずれかに該当する地震。]

8月5日 宮古島近海の地震

震央分布図 (1997年10月以降、深さ0~150km、M 3.0)
深さ50km以浅の地震を濃く表示。発震機構はCMT解。



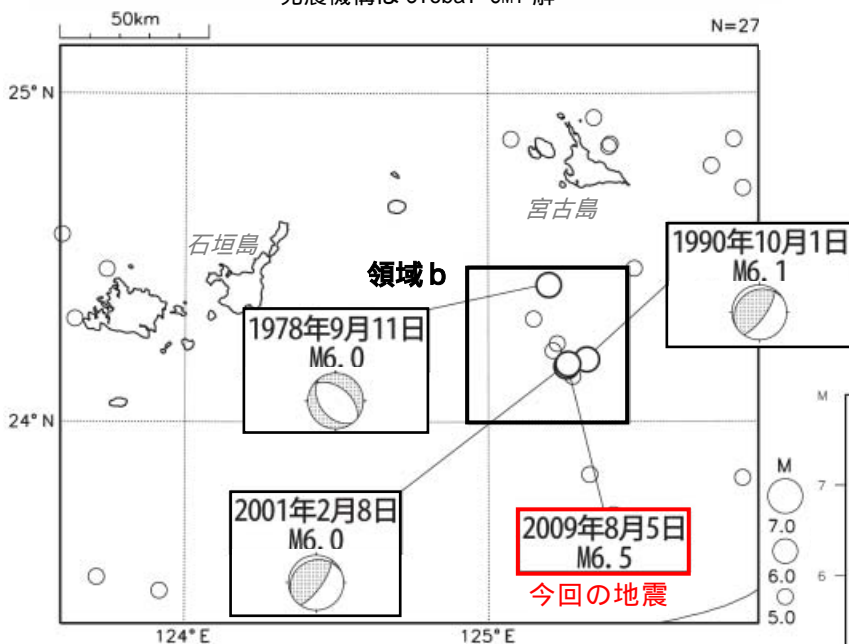
領域aの地震活動経過図及び回数積算図



2009年8月5日09時17分に宮古島近海の深さ22kmでM6.5の地震(最大震度4)が発生した。発震機構(CMT解)は北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。

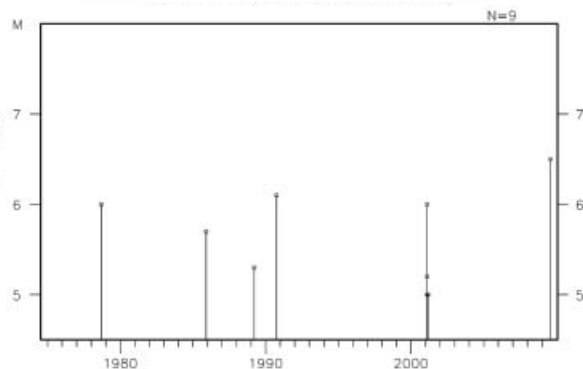
今回の地震の震源周辺(領域a)は、地震活動が活発な領域であり、2001年2月8日にはM6.0の地震(最大震度3)が発生している。

震央分布図 (1975年1月以降、深さ0~100km、M 5.0)
発震機構はGlobal CMT解



1975年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、M6.0前後の地震が時折発生している。

領域bの地震活動経過図

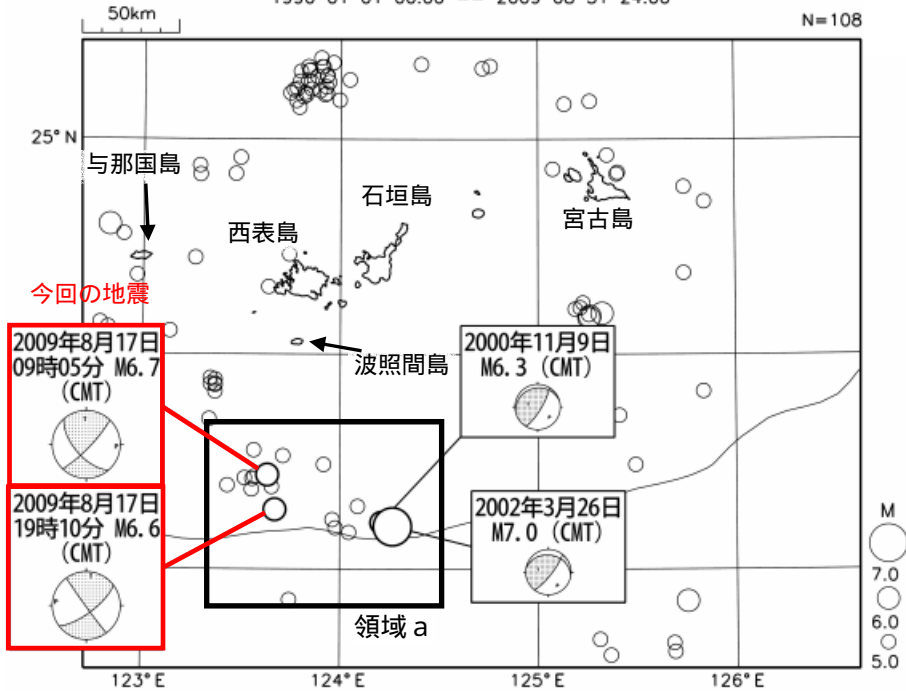


8月17日 石垣島近海の地震

震央分布図

(1990年1月1日～2009年8月31日、深さ0～90km、M 5.0)

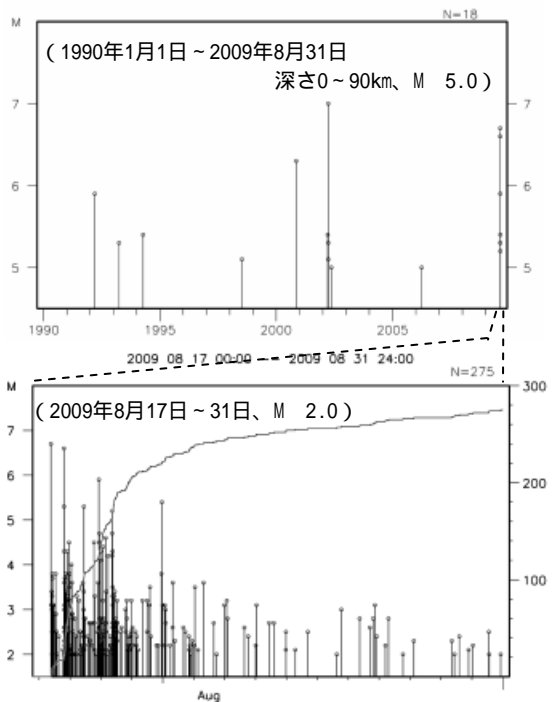
1990 01 01 00:00 -- 2009 08 31 24:00



2009年8月17日09時05分に、石垣島近海(石垣島の南南西、約120km付近)でM6.7の地震(最大震度3)が発生した。また、同日19時10分に、ほぼ同じ場所でM6.6の地震(最大震度2)の地震が発生した。発震機構は、どちらの地震も南北方向に張力軸を持つ横ずれ断層型であった。この2つの地震において、共に一時、宮古島・八重山地方に津波注意報を発表したが、どちらの地震でも津波は観測されていない。今回の震源付近(領域 a)でM6.0以上の地震が発生したのは、2002年3月26日のM7.0の地震(最大震度1)以来である。

右の回数積算図を見ると、今回の地震の余震は、M5.0以上の地震が本震を含めて7回発生するなど当初活発であったが、21日以降はM4.0以上の地震は発生していない。

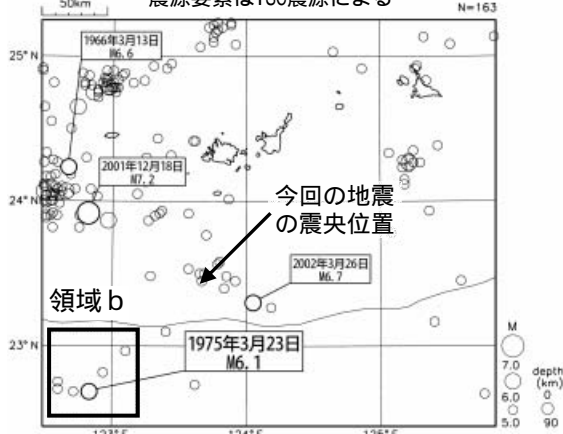
領域 a 内の地震活動経過図、回数積算図



震央分布図

(1964年1月1日～2006年12月31日、深さ0～90km、M 5.0)

震源要素はISC震源による



領域 b 内の地震活動経過図



過去の活動を見ると、今回の震源の南西側(左図の領域 b)で1975年3月から6月にかけて、M5.0以上の地震が6回、まとまって発生している。この期間の最大の地震は3月23日のM6.1の地震であった。